

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。また当研究は研究倫理審査委員会の審査を受け、研究の実施について病院長の許可を得ています。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 1986年8月1日 ～ 1996年9月30日の間に虎の門病院分院腎センター内科に入院した方。なお調査期間中に1,25 ビタミンD濃度を測定していない方、ビタミンD製剤を使用している方は除外されます。

【研究課題名】

サルコイドーシス患者におけるビタミンD濃度と腎機能の関係性の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

サルコイドーシスを合併している患者さんと合併していない患者さんでのビタミンDの血中濃度と腎機能の関連性を比較します。

《研究に至る背景》

腎機能が低下した患者さんは血中の活性型ビタミンD濃度が低下することがわかっています。一方でサルコイドーシスでは血中の活性型ビタミンD濃度が上昇することはわかっていますが、同時に一部の患者様では腎機能の悪化を合併するため、腎機能悪化を合併したサルコイドーシスの患者さんのビタミンD濃度がどのような傾向をとるかは分かっていません。本研究ではサルコイドーシスと診断されている患者さんとサルコイドーシスと診断されていない患者さんについて活性型ビタミンDの血中濃度と腎機能の関連性を比較することを目的としています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018/5/30 ～ 2018/8/31

【単独／共同研究の別】

虎の門病院分院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院腎センター 乳原善文 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

年齢・性別・eGFR・クレアチニン・アルブミン・カルシウム・1,25 ビタミン D、尿蛋白、尿中β2MG、原疾患、内服薬

【研究代表者】

虎の門病院分院腎センター内科 部長 乳原善文

【虎の門病院分院における研究責任者】

虎の門病院分院腎センター内科 部長 乳原善文

【利用する者の範囲】

虎の門病院分院腎センター内科 部長 乳原善文

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年7月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 乳原善文
電話 044-877-5111(代表)